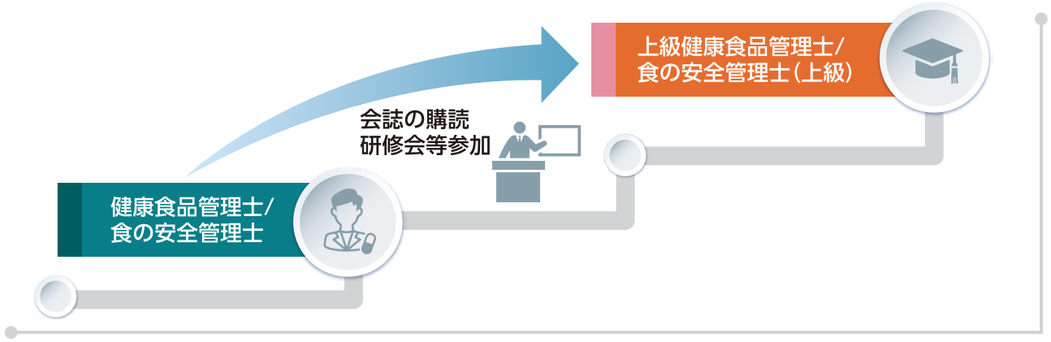
「上級健康食品管理士/食の安全管理士（上級）」への道

協会から送られてくる会誌を購読し、研修会等に参加して5年間の研鑽を積むと**「上級健康食品管理士/食の安全管理士（上級）」**となることもできます。**「上級健康食品管理士/食の安全管理士（上級）」**は高度な能力を有することを保証する資格であり、社会における評価も高く、必然的に活躍範囲が広がります。



教育協議会が強力なサポートをします

日本食品安全協会は、「食の安全及び機能性等」に関する教育事業を実施する教育機関並びに関係者における資質向上を図ることを目的とした教育協議会を令和3年度3月12日に設立しました。教育協議会の認定校の学生さんは、該当校の指定する科目を履修するだけで健康食品管理士/食の安全管理士の受験資格が得られます。

健康食品管理士/食の安全管理士になって知識を プラス

国家資格に プラス

医療系の国家資格取得を目指している学生の方は、専門に特化した知識に加えて多面的に食に関する知識を有しているため、就職後のアピールにつながります。

日々の業務で プラス

食にまつわる問題を体系的に科学的に捉えることができる能力は食に関わるすべての業界(病院・薬局・ドラッグストア・食品会社・介護施設等)の日々の業務に役立ちます。

継続的に知識を プラス

最新情報の会誌が読めて、オンデマンド可能な研修会が定期的に開催され、健康食品ポケットマニュアル検定などとあわせて、資格取得後も継続して知識をアップできます。

https://www.jafsra.or.jp

最新情報に関しましては当協会のホームページをご参照ください。

一般社団法人 日本食品安全協会
〒510-0293 三重県鈴鹿市岸岡町1001番地1 鈴鹿医療科学大学内
電話　059-381-1510　Fax　059-381-1511
HP:https://www.jafsra.or.jp　E-mail:info@jafsra.or.jp

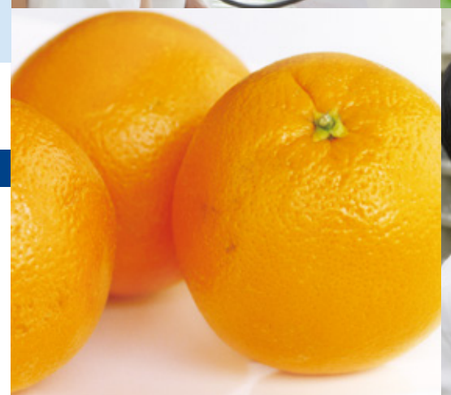
食品、保健機能食品の高度な専門家を目指そう

厚生労働省が推奨する
アドバイザリースタッフ*

健康食品管理士/食の安全管理士にチャレンジしませんか？

Japanese Association of Food Science and Risk Analysis

*アドバイザリースタッフとは
厚生労働省が求める「健康食品について正しく情報を提供できる助言者」のことです



一般社団法人 日本食品安全協会

＼健康食品問題に精通した／

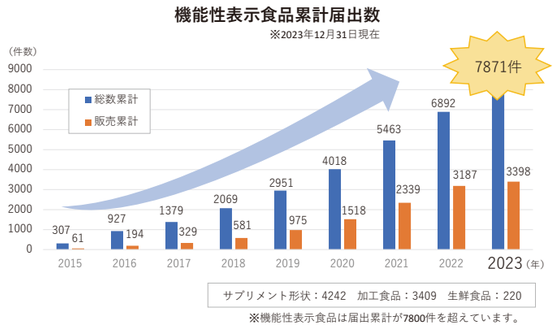
健康食品管理士/食の安全管理士は新たな時代の資格になります!

健康食品関連の人材が不足しています

「健康食品」ではその誤った情報の参照や製品情報が正しく理解できないことによる被害が後を絶ちません。そのような中で消費者庁は一定の科学的根拠に基づいて機能表示ができる保健機能食品制度を創設しています。保健機能食品とは、国の審査・許可を受けた特定保健用食品(トクホ)や規格基準を満たしたビタミン・ミネラルなどの栄養機能食品そして事業者による届出により機能表示がされた機能性表示食品の総称ですが、機能性表示食品が近年急激に増加しています。

その内容は消費者には正しく理解されておらず、誤認による不適切な利用、事業者の法令違反による消費者庁の措置命令や指導の問題も発生しています。健康食品を含む食の問題に取り組む為には、より科学的考察力が求められるようになりました。

こうした状況を踏まえ、厚生労働省*は消費者に対して健康食品に関する「正しく情報提供のできる助言者」としてアドバイザリースタッフの活用を呼びかけています。



厚生労働省ホームページ
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000049348_00004.html

当協会で認定する「健康食品管理士/食の安全管理士」は、健康食品を含めた食に関する情報を正しく発信し、アドバイスできる人材です。

一般社団法人 日本食品安全協会について

日本食品安全協会は、健康食品を含む食品全般及び食品添加物、遺伝子組換え食品などの安全性と、これらの健康との関わりに関して、科学的に正しい情報を基に一般消費者を啓発してゆくことを目的として、医学、薬学、保健医療学、栄養学及び農学関係の教育機関の有志で組織され、立ち上げられました。

国民の健康増進に向けて、健康食品を含む食全般の安全・安心とそれら食品が健康に及ぼす効果等に関する情報発信、基礎研究、コンサルテーションができる人材として「健康食品管理士/食の安全管理士」の育成に取り組んでいます。

教育方針

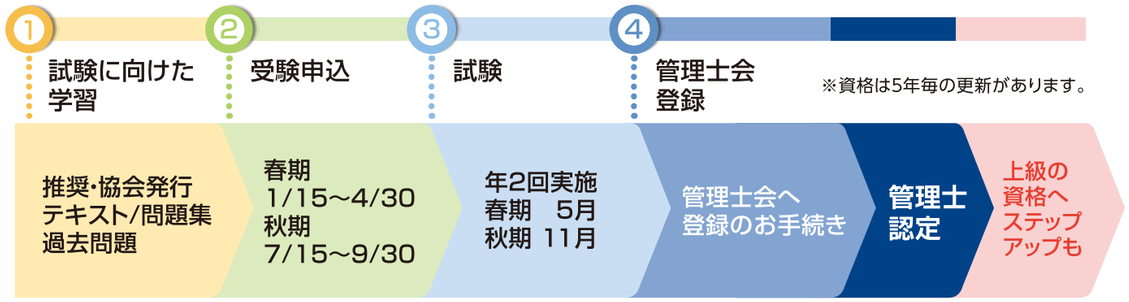
当協会では、食の安全・安心を巡る種々の問題に感覚的ではなく、科学的に対処できる人材を育成するため、以下の教育を行っています。

1) 保健機能食品等の有用性、安全性を考慮した適正な使用法や摂取方法
2) 健康食品と医薬品との相違についての正しい知識
3) 保健機能食品等と医薬品および保健機能食品同士の相互作用についての正しい知識
4) 栄養強調表示と健康強調表示に関する正しい知識
5) 保健機能食品等の有用性、安全性に関する科学的根拠を理解するための基礎知識
6) 食品および食品添加物の安全性や衛生管理等に関連する知識
7) 健康状態および栄養状態に応じた食品の適切な利用のための健康・栄養に関する知識
8) 関連法規(食品衛生法、健康増進法、医薬品医療機器等法、景品表示法等)の内容
9) 消費者の視点に立った情報提供と適切な助言のあり方および消費者保護についての考え方
10) 保健機能食品等の市場に関する知識や海外の情報等
11) ゲノム編集食品、遺伝子組換え食品の安全性
12) GMP(適正製造規範)、HACCP(危害分析重要管理点)等の品質管理問題
13) リスクコミュニケーション

1)～10)項目は、平成14年2月21日付で厚生労働省医薬局から示された「保健機能食品等に係るアドバイザリースタッフの養成に関する基本的な考え方について」の教育方針に準拠しています。

日本食品安全協会は、アドバイザリースタッフの養成機関として厚生労働省に認められています。

資格取得の流れ



さらに!

健康食品に限らず、ゲノム編集や遺伝子組み換えなど、食に関する様々な分野について学習されている方は**食の安全管理士**を同時に取得することができます。

費用　学生割引　受験料 10,000円 (一般 15,000円)　登録料 10,000円 (一般 20,000円)

受験資格のある方

❶ 認定校で所定の科目を履修する予定の在学生

❷ 認定校で所定の科目を履修した卒業生

認定校一覧 (令和6年4月1日時点)

北海道大学	帝京大学	岐阜医療科学大学	京都先端科学大学	山口大学
北海道情報大学	文京学院大学	岐阜薬科大学	関西大学	純真学園大学
北海道医療大学	東京工科大学	愛知学院大学	帝塚山学院大学	国際医療福祉大学
福島県立医科大学	北里大学	名古屋学芸大学	神戸大学	東海大学
北里大学 保健衛生専門学院	城西国際大学	藤田医科大学	大阪工業大学	活水女子大学
群馬パース大学	麻布大学	名古屋大学	徳島大学	熊本保健科学大学
埼玉県立大学	城西大学	四日市看護医療大学	香川県立保健医療大学	南九州大学
人間総合科学大学	慶應義塾大学	鈴鹿医療科学大学	高知学園大学	琉球大学
埼玉医科大学	信州大学	大阪大谷大学	就実大学	
日本獣医生命科学大学	松本大学	森ノ宮医療大学	広島国際大学	

❸ 該当する国家資格をお持ちの方

医師、獣医師、歯科医師、6年制薬剤師

❹ 修士以上の学位取得者で該当する国家資格を持ちの方

4年制薬剤師、臨床検査技師、管理栄養士、栄養士、保健師、鍼灸師、理学療法士、作業療法士、食品衛生監員、看護師

❺ BIO-Sフードサイエンス修了者(大学生、大卒)

医師、獣医師、歯科医師、6年制薬剤師

❻ その他の方

「受験資格審査」や「通信講座」を受講することにより受験資格を得られる方法もございます。
くわしくはホームページをご覧ください。